

# オランダの歩みと諸問題

220781062 山本美桜

# 目次

はじめに

第1章 オランダの誕生

第1節 オランダの概要

第2節 オランダ王国の成立と発展

第3節 第二次世界大戦とオランダ

# 目次

## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

### 第1節 経済成長と社会改革

### 第2節 インドネシア独立への対応

### 第3節 オランダ領アンティル

# 目次

## 第3章 オランダの発展

### 第1節 ECとオランダ

### 第2節 EU統合とオランダ

### 第3節 EU統合後のオランダ

# 目次

## 第4章 オランダの課題

### 第1節 移民政策

### 第2節 エネルギー自給率の低さ

### 第3節 社会保障制度

## 第5章 今後の展望

# はじめに

## 1. 極右政党の存在

A) ロシアのウクライナ侵攻を皮切りに  
極右政党の支持率UP

B) EU全体が自国第一主義に

C) 2023年の下院選で躍進

## 2. 連立政権が崩壊、統治能力

# はじめに

- I. 2025年～ **中道左派**が連立政権を主導
  - A) 移民難民の流入に**制約**を設置
  - B) 中・低所得者に高関心な住宅問題を重視
    - ⇒ 支持率UP

# 第1章 オランダの誕生

## 第1節 オランダの概要

### I. 概要

- A) 面積 41,864km<sup>2</sup>  
⇒ 九州地方とほぼ同じ
- B) 人口 約1,776万人
- C) 首都 アムステルダム
- D) 言語 オランダ語





# 第1章 オランダの誕生

## 第1節 オランダの概要

### I. 特徴

- A) 運河 商業と交通の中心  
⇒ 2010年 ユネスコ世界遺産
- B) 気候 西岸海洋性気候
- C) 農産物 花き、じゃがいも



# 第1章 オランダの誕生

## 第2節 オランダ王国の成立と発展

### I. 1568年 八十年戦争

#### A) きっかけ

- a. スペインの圧政に反発

#### B) 特徴

- a. 宗教的対立⇒ ベネルクス（オランダ、ルクセンブルク、ベルギー）の二分化
- b. 海外進出⇒ 貿易拠点の確保

⇒ 1609年 事実上独立

# 第1章 オランダの誕生

## 第2節 オランダ王国の成立と発展

### I. 1618年 三十年戦争

#### A) きっかけ

- a. プロテスタント勢力の支援

#### B) 特徴

- a. 1648年 ウェストファリア条約
  - ⇒ 独立を国際的に承認
- b. オランダの対スペイン戦略
  - ⇒ スペインは独立の阻止に失敗

# 第1章 オランダの誕生

## 第3節 第二次世界大戦とオランダ

### I. 1914年 第一次世界大戦

A) オランダは中立の立場を維持

B) 戦争の影響

a. 海上貿易の縮小

b. 経済活動の縮小⇒ 貿易と工業は衰退

c. 工業の近代化

# 第1章 オランダの誕生

## 第3節 第二次世界大戦とオランダ

### I. 1939年 第二次世界大戦

A) 中立の立場を表明

B) 1940年5月10日 オランダ侵攻

a. ユダヤ人の受容

⇒ ユダヤ人狩り 約600万人の犠牲

b. 飢餓の冬 ⇒ 約2万人の犠牲

C) 1945年 全オランダの解放

## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

### 第1節 経済成長と社会改革

#### 1. 工業生産の回復

- A) アメリカからの資金援助（マーシャル・プラン）
- B) 1950年頃には戦前の生産水準まで回復

#### 2. 資本主義の再建

- A) 労使の協調や政府による厳しい統制

## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

### 第1節 経済成長と社会改革

#### I. 国際連合の発足

A) オランダは原加盟国の1つ

B) 国際司法裁判所

a. ハーグに所在

b. 国家間の法律的紛争の裁判

C) 1947年 東西冷戦

a. 西軍陣営アメリカ 対 東軍陣営ソ連

b. オランダは西軍陣営

## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

### 第2節 インドネシア独立への対応

#### 1. インドネシア共和国

- A) スカルノとハッタが独立を宣言  
⇒ オランダは認めず
- B) 1946年 ジャワ島を制圧





## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

### 第2節 インドネシア独立への対応

#### I. インドネシア共和国

##### A) 1946年 リンガルジャティ協定

- a. ジャワ島とスマトラ島  
⇒ インドネシア共和国領
- b. それ以外の自治国  
⇒ オランダ領



## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

### 第2節 インドネシア独立への対応

#### I. 1947年 インドネシア独立戦争

##### A) 首都ジャカルタの包囲

⇒ 共和国勢力の弱体化が目的

##### B) 1949年 ハーグ円卓会議

##### a. インドネシア連邦共和国の成立

⇒ 単一国家**インドネシア共和国**の誕生



## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

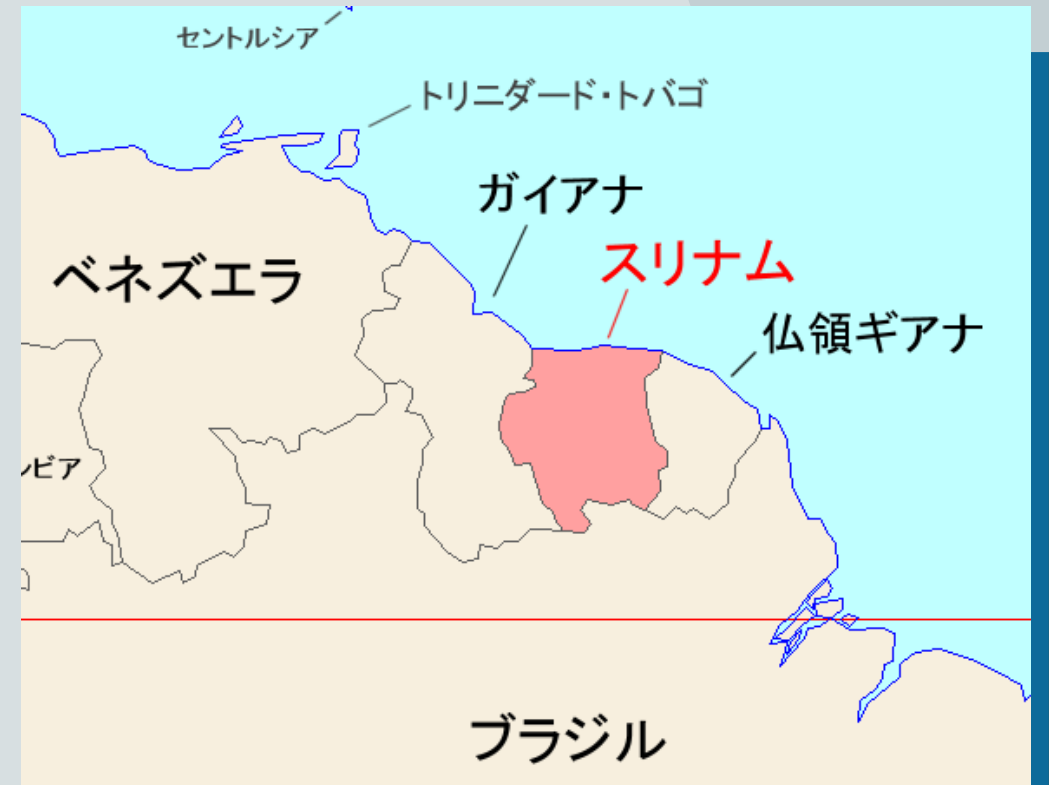
### 第3節 オランダ領アンティル

#### I. オランダ領ギアナ

##### A) 南米ギアナ

a. オランダの4.5倍の面積  
と鉱石

B) 人口35万人



## 第2章 第二次世界大戦直後のオランダ

### 第3節 オランダ領アンティル

#### I. 1948年 植民地規定を改定

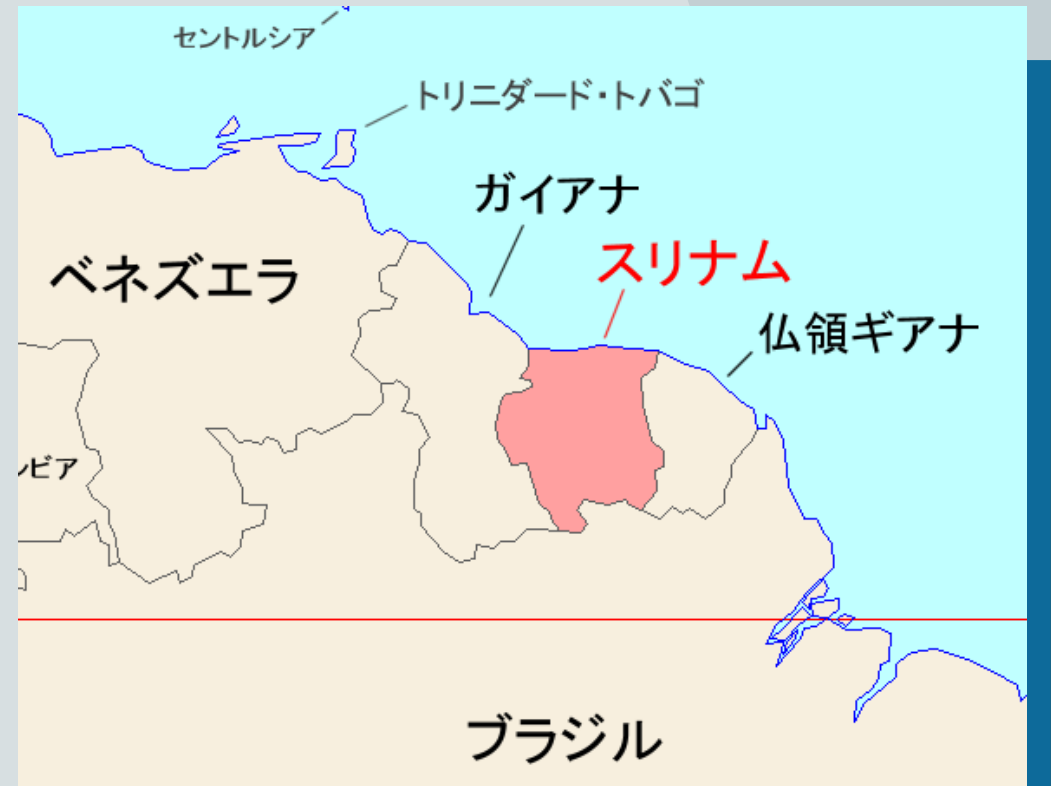
##### A) アンティル諸島

⇒ 内政自治権を獲得

##### B) ギアナ

⇒ 自治権獲得

1975年にスリナム共和国  
として独立



# 第3章 オランダの発展

## 第1節 ECとオランダ

### I. 1967年 ECの発足

- A) ECSC（欧州石炭鉄鋼共同体）  
＋EEC（ヨーロッパ経済共同体）  
＋Euratom（ヨーロッパ原子力共同体）
- B) アムステルダムを中心とした自由貿易圏  
の形成に貢献

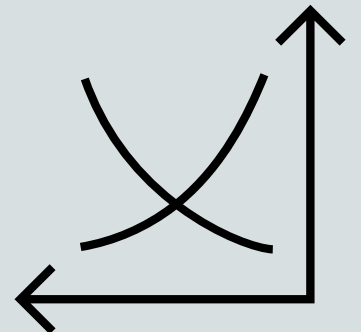


# 第3章 オランダの発展

## 第1節 ECとオランダ

### I. ECでのオランダの立場

- A) 原加盟国の1つ
- B) 欧州の貿易拠点として欧州統合を推進
- C) アメリカ経済に対抗



# 第3章 オランダの発展

## 第2節 EU統合とオランダ

### I. 1993年 EUの発足

#### A) マーストリヒト条約に合意

- a. 共通の外交・安全保障政策を施行
- b. 欧州議会の権限を強化
- c. ECの発展的解消が目的

#### B) オランダは、単一市場の形成と欧州全域の自由貿易圏の形成を支持

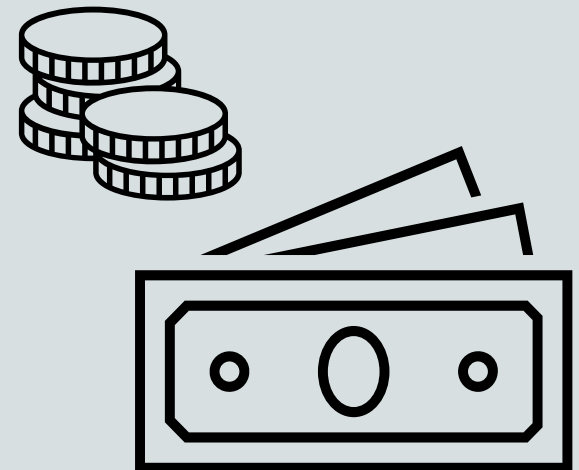
#### C) 通貨統合による貿易の効率化を支持



# 第3章 オランダの発展

## 第2節 EU統合とオランダ

- I. オランダの役割
  - A) 経済面の支援
  - B) アムステルダム条約締結時の場所の提供
  - C) 市場拡大の観点からEU拡大を支持



# 第3章 オランダの発展

## 第3節 EU統合後のオランダ

1. 2007年には加盟国が27カ国に拡大
  - A) 意思決定の過程が複雑化
2. 2000年 ニース条約
  - A) マーストリヒト条約の強化・改正が目的
  - B) 通貨導入基準の引き下げ
3. 単一通貨ユーロの導入
  - A) 貿易の効率化に成功



# 第3章 オランダの発展

## 第3節 EU統合後のオランダ

### I. オランダの役割

A) 単一通貨の導入に貢献

B) 貿易の効率化を重視

C) 欧州全体の貿易の要 ⇒ 大きな存在感

# 第4章 オランダの課題

## 第1節 移民政策

### 1. 寛容の国ならではの政策

- A) 人口の約半分が外国系市民（移民1世・2世）
- B) 移民の文化的アイデンティティの保持  
⇒ 自己イメージの向上、社会統合の推進

### 2. 課題

- A) 外国系市民の失業者、中途退学者数
- B) オランダ社会への統合率

# 第4章 オランダの課題

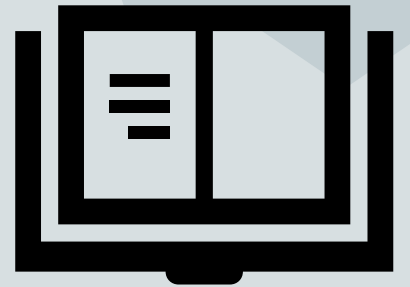
## 第1節 移民政策

### 1. 課題

- A) 移民の統合の煩雑化
- B) 社会的・精神的分断や孤立の防止  
⇒移民の流入にブレーキ

### 2. 政策改定

- A) 2006年 外国における市民化法
  - a. オランダ語・オランダ社会の試験を導入
- B) 2007年 市民化法
  - a. 居住には市民化試験での合格が必須



# 第4章 オランダの課題

## 第2節 エネルギー自給率の低さ

1. エネルギー使用量の68.9%を輸入に依存（2024年時点）
2. 欧州最大の天然ガス田 フローニンゲンガス田
  - A) 国内需要の大半を供給
  - B) 群発地震の発生⇒ 段階的な閉鎖を決定
3. 課題
  - A) 再生可能エネルギーの供給量
  - B) 天然ガスの輸入依存からの脱却
    - A) エネルギーインフラの整備

# 第4章 オランダの課題

## 第2節 エネルギー自給率の低さ

### 1. 洋上風力の導入

#### A) オランダの立地を活用

- a. 実施基盤の未整備⇒ 市場環境の悪化

### 2. 水素戦略

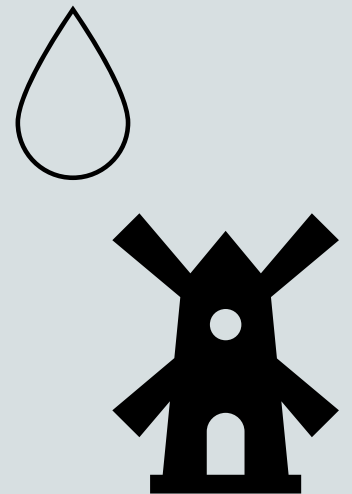
#### A) 洋上でのグリーン水素の生産

#### B) コスト面やインフラ面の課題

### 3. 今後の政策

#### A) 既存のガスパイプラインの活用

- a. コスト削減、大容量輸送の実現



## 第4章 オランダの課題

### 第3節 社会保障制度

#### 1. 前進的な社会保障制度

A) 多くの制度を公費で負担

#### 2. 課題

A) 高齢化による医療・介護需要の増加

B) 継続的な制度改革





## 第4章 オランダの課題

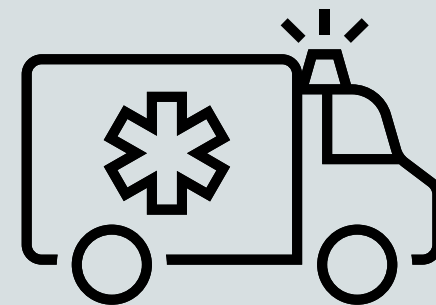
### 第3節 社会保障制度

#### 1. 競争原理の導入

- A) 効率的な事業経営・医療サービスの提供
  - ⇒ 公平性を保持しながら保険者間の競争を促進
- B) 保険内容の複雑化や自己負担額の増加への対応

#### 2. 複合的施策

- A) 予防医療や地域ケアの強化
  - a. 医療費抑制、国民の生活の質向上
- B) 医療情報の共有や遠隔医療の推進
  - a. 医療サービス提供の効率化



## 第5章 今後の展望

### 1. 移民・難民政策

A) ロシアのウクライナ侵攻により流入数増加

B) 移民の排除か統合か

### 2. 移民の排除

A) 治安の悪化、住宅の不足を懸念

### 3. 移民の統合

A) 選択的移民政策の導入による多文化共生の実現

## 第5章 今後の展望

### I. 移民の受け入れに賛成

#### A) 入国に条件を設置

⇒ オランダ統合の第一歩

#### B) 移民の割合

a. 全体の半分近く

⇒ 少数派ではない

#### C) 移民がオランダの問題解決において強力な力を保持

